



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）1月25日号 No. 1485

目次

■太平洋沿岸への石油パイプライン開業 —ロシアの新しいアプローチ—	齋藤 大輔 1
■統計速報 2009年のロシアの鉱工業生産は10.8%減／9	9
■トピックス 日本海洋掘削がガスプロムから新規受注／9 住商が独ロパイプライン用鋼管を受注／9 積水ハウスがロシアで分譲住宅／10 在キルギス日本国大使に丸尾眞氏／10	9
■エトセラ 香川県ロシアビジネスチャンスセミナーのご案内／10 RBS主催「ロシアCIS・中東欧セミナー」／10 『調査月報』2010年2月号のご案内／11	10

太平洋沿岸への石油パイプライン開業 —ロシアの新しいアプローチ—

ロシアNIS経済研究所 研究員

齋藤 大輔

はじめに

シベリアの油田地帯からロシア極東の太平洋沿岸へ石油を送るパイプラインが中間地点まで完成し、昨年末、プーチン首相が出席して開業式典がナホトカ郊外の積み出し施設で行われた。

このパイプラインをめぐるのは、エネルギー供給源の多様化と中東依存からの脱却を図りたい日本と、急激な経済成長で、いまや資源輸入国となった中国が、太平洋沿岸と中国向けのどちらを優先着工するかで激しく争ってきた。最終的に両方建設することで落ち着いたが、着工前から注目を集めてきた。

年の瀬ということもあって、注目されていたわりには日本で話題になることは少なかったが、原油のほぼすべてを輸入に依存する日本にとって、新たな供給源の確保はエネルギー安全保障上、大きな意味をもつ。これまでもサハリン大陸棚での石油・ガス開発プロジェクトから石油や天然ガスを購入してきており、ロシアからのエネルギー輸入はこれが始